

日興・ピムコ・グローバル短期債券ファンド 〈愛称 債蔵〉

追加型投信／内外／債券

交付運用報告書

第73期(決算日2019年12月5日)

第74期(決算日2020年3月5日)

作成対象期間(2019年9月6日～2020年3月5日)

第74期末(2020年3月5日)

基準価額	10,395円
純資産総額	9,611百万円
第73期～第74期	
騰落率	0.2%
分配金(税込み)合計	120円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興・ピムコ・グローバル短期債券ファンド」は、2020年3月5日に第74期の決算を行いました。

当ファンドは、主として、世界各国(日本を含む)の債券などを投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保を目的として、安定運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<957259>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

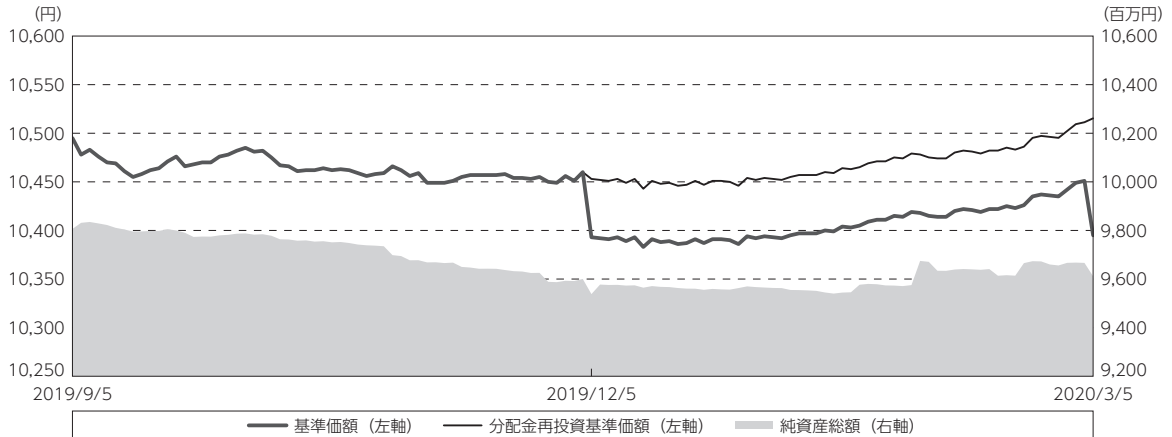
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2019年9月6日～2020年3月5日)



第73期首：10,495円

第74期末：10,395円 (既払分配金(税込み)：120円)

騰落率：0.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2019年9月5日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界各国(日本を含む)の債券などを投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保を目的として、安定運用を行なっております。外貨建債券に投資することで発生する為替変動リスクは、投資する2つのファンドで原則フルヘッジを行なうことにより回避することをめざしております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・米国の国債利回りが低下(債券価格は上昇)したこと。
- ・組み入れていた金融社債や、エージェンシー・モーゲージ債の価格が上昇したこと。
- ・組入債券の利息収入を得たこと。

<値下がり要因>

- ・欧州の国債利回りが上昇(債券価格は下落)したこと。
- ・為替ヘッジに伴うコストがマイナスに影響したこと。

1万口当たりの費用明細

(2019年9月6日～2020年3月5日)

項 目	第73期～第74期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	26 円	0.254 %	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(8)	(0.073)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(17)	(0.164)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	26	0.256	
作成期間の平均基準価額は、10,435円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

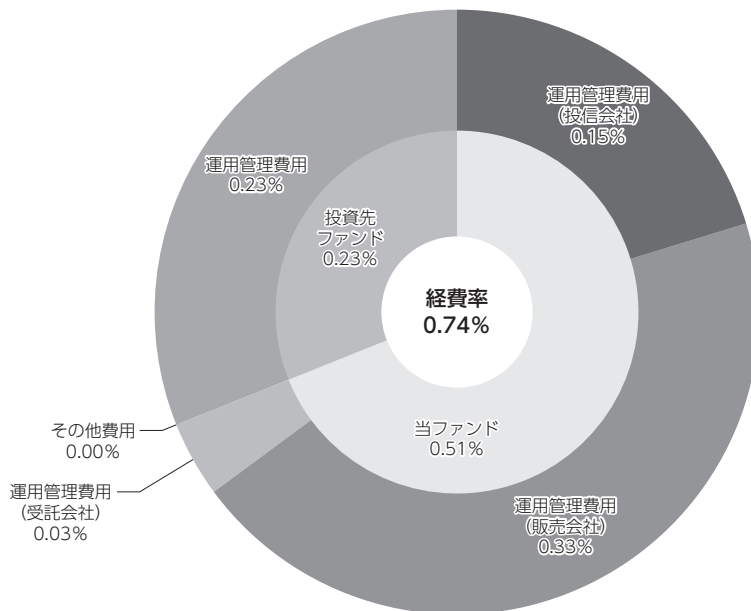
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は0.74%です。



(単位: %)

経費率 (①+②)	0.74
①当ファンドの費用の比率	0.51
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

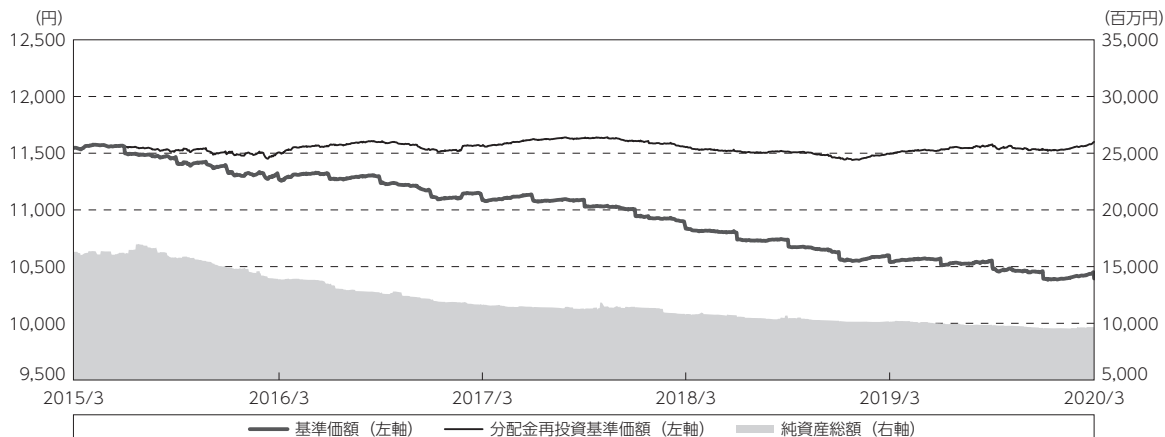
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2015年3月5日～2020年3月5日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2015年3月5日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2015年3月5日 決算日	2016年3月7日 決算日	2017年3月6日 決算日	2018年3月5日 決算日	2019年3月5日 決算日	2020年3月5日 決算日
基準価額 (円)	11,545	11,268	11,085	10,834	10,542	10,395
期間分配金合計(税込み) (円)	—	240	240	240	240	240
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 0.3	0.5	△ 0.1	△ 0.5	0.9
純資産総額 (百万円)	16,235	13,858	11,614	10,779	10,113	9,611

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2019年9月6日～2020年3月5日)

(債券市況)

米国債券市場は、期間の前半、堅調な米国経済指標や米中通商協議の進展期待などを背景に下落しました。しかし期間の後半には、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念からリスク回避姿勢が強まり上昇し、期間を通じては上昇となりました。

欧州債券市場は、期間の前半、米中貿易摩擦を巡る懸念が後退したことや英国のEU（欧州連合）離脱協定案が合意されたことなどを背景に下落しました。期間の後半は、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念からリスク回避姿勢が強まり上昇し、期間を通じて見ると小幅な下落となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2019年9月6日～2020年3月5日)

(当ファンド)

当ファンドでは、収益性を追求するため、「PIMCOバミューダ U.S. ロー・デュレーション・ファンド」受益証券および「PIMCOバミューダ フォーリン・ロー・デュレーション・ファンド」受益証券を高位に組み入れました。外貨建債券に投資することで発生する為替変動リスクは、投資する2つのファンドで原則フルヘッジを行なうことにより回避することをめざしました。

(PIMCOバミューダ U.S. ロー・デュレーション・ファンド)**(PIMCOバミューダ フォーリン・ロー・デュレーション・ファンド)**

ポートフォリオ全体の金利リスクは引き続き低位に維持し、国別／地域別配分では米国および欧州へのポジションを多めとする一方、日本のポジションを少なめとしました。セクター戦略では、財務内容の健全性などを慎重に考慮し、リスク対比で投資妙味があると考えられる社債を金融セクター中心に継続保有しました。また、米国住宅市場の回復の恩恵を享受すると考えられるモーゲージ債の保有も継続しました。期間を通じて見ると、欧州の短期ゾーンへ投資をしていたことなどがマイナスに影響しましたが、米国の金利リスクを多めとしたことや金融社債への投資などがプラスに寄与しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年9月6日～2020年3月5日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

(2019年9月6日～2020年3月5日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第73期	第74期
	2019年9月6日～ 2019年12月5日	2019年12月6日～ 2020年3月5日
当期分配金	60	60
(対基準価額比率)	0.574%	0.574%
当期の収益	32	37
当期の収益以外	27	22
翌期繰越分配対象額	1,143	1,120

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率は異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入で算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**(当ファンド)**

引き続き、原則として、「PIMCOバミューダ U.S. ロー・デュレーション・ファンド」受益証券および「PIMCOバミューダ フォーリン・ロー・デュレーション・ファンド」受益証券に投資を行ない、安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。外貨建債券に投資することで発生する為替変動リスクは、投資する2つのファンドで原則フルヘッジを行なうことにより回避することをめざします。

(PIMCOバミューダ U.S. ロー・デュレーション・ファンド)**(PIMCOバミューダ フォーリン・ロー・デュレーション・ファンド)**

金利戦略については、全体の金利リスク(デュレーション)を低位に維持します。セクター戦略については、財務内容の健全性などを慎重に考慮し、リスク対比で投資妙味があると考えられる社債の保有を継続的に行ないます。また、証券化商品については、米国住宅市場の回復の恩恵を享受すると考えるモーゲージ債への投資を継続します。

地域別では、引き続き米国および欧州の組入れを中心とするものの、グローバルに金利水準が大きく低下するなか、金利リスクは抑制気味とします。ただし、年限別に見ると、短期部分には投資妙味があるとみており、若干ポジションを取得しています。セクター別では、金融機関の社債、モーゲージ債、新興国債券において、リスク対比で魅力的な銘柄への選択的な投資を継続していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

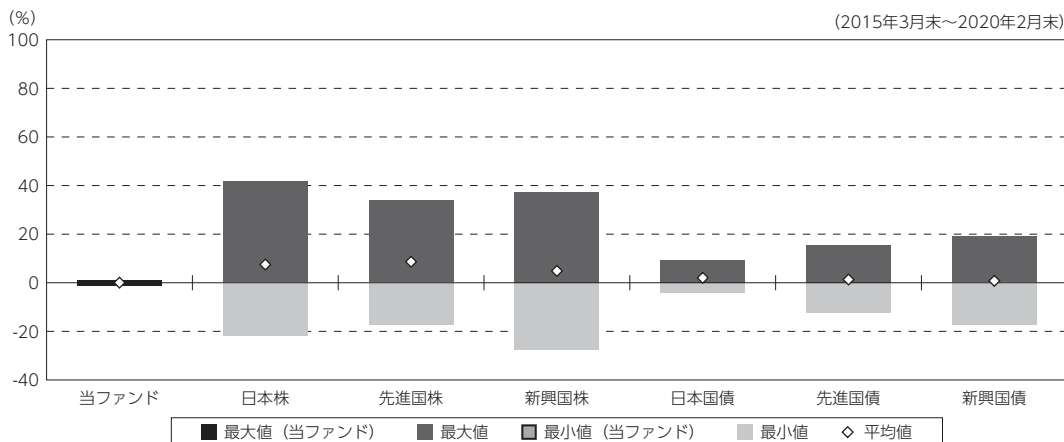
2019年9月6日から2020年3月5日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2001年9月7日から2021年9月6日までです。
運用方針	外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）に投資を行ない、安定した収益の確保を目的として安定運用を行ないます。
主要投資対象	「PIMCOバミューダ U.S. ロー・デュレーション・ファンド」受益証券 「PIMCOバミューダ フォーリン・ロー・デュレーション・ファンド」受益証券 上記の投資信託の受益証券を主要投資対象とします。
運用方法	原則として、「PIMCOバミューダ U.S. ロー・デュレーション・ファンド」受益証券および「PIMCOバミューダ フォーリン・ロー・デュレーション・ファンド」受益証券に投資を行ない、安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。外貨建債券に投資することで発生する為替変動リスクは、投資する2つのファンドで原則フルヘッジを行なうことにより回避することをめざします。また、為替ヘッジの一部について、当該通貨に関する為替予約取引ではなく、別の通貨に関する為替予約取引（いわゆるクロスヘッジ）を使って行なうこともあります。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	1.1	41.9	34.1	37.2	9.3	15.3	19.3
最小値	△ 1.3	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	0.0	7.5	8.6	4.9	2.0	1.3	0.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2015年3月から2020年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2020年3月5日現在)

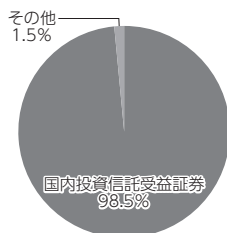
○組入上位ファンド

銘柄名	第74期末
	%
PIMCOバミューダフォーリン・ロー・デュレーション・ファンド	59.7
PIMCOバミューダU.S.ロー・デュレーション・ファンド	38.8
組入銘柄数	2銘柄

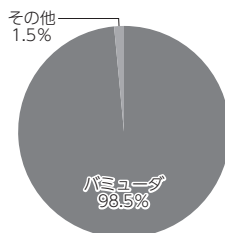
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

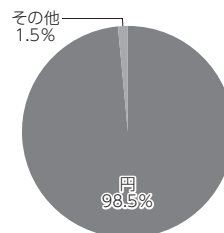
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 国内投資信託受益証券には外国籍(邦貨建)の受益証券を含めております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

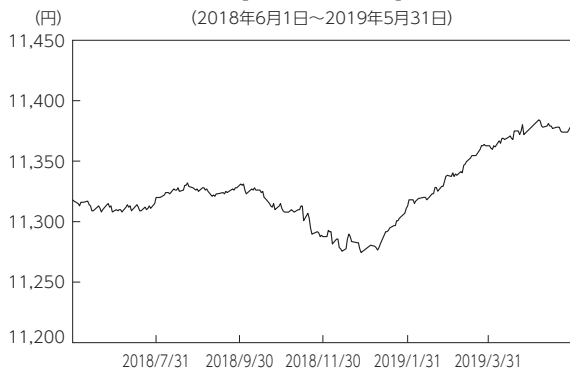
項目	第73期末	第74期末
	2019年12月5日	2020年3月5日
純資産総額	9,538,115,725円	9,611,593,989円
受益権総口数	9,177,462,299口	9,246,060,404口
1万口当たり基準価額	10,393円	10,395円

(注) 当作成期間(第73期~第74期)中における追加設定元本額は293,306,896円、同解約元本額は391,363,859円です。

組入上位ファンドの概要

PIMCOバミューダフォーリン・ロー・デュレーション・ファンド

【基準価額の推移】



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2018年6月1日～2019年5月31日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載していません。

【組入上位 10 銘柄】

(2019年5月31日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	比率
				%
1	SAL 06/03/2019	レポ契約	アメリカドル	12.9
2	BPS 06/03/2019	レポ契約	アメリカドル	11.6
3	CSN 06/03/2019	レポ契約	アメリカドル	11.6
4	TDM 06/03/2019	レポ契約	アメリカドル	3.6
5	Qatar Government International Bond 3.875% due 04/23/2023	ソブリン債	アメリカドル	2.3
6	Fannie Mae, TBA 3.500% due 07/01/2049	米国政府機関債	アメリカドル	2.2
7	Japan Finance Organization for Municipalities 2.000% due 09/08/2020	ソブリン債	アメリカドル	2.2
8	Towd Point Mortgage Funding Granite4 PLC 1.855% due 10/20/2051	モーゲージ担保証券	イギリスポンド	1.8
9	Santander UK Group Holdings PLC 3.125% due 01/08/2021	社債等	アメリカドル	1.8
10	Mizuho Financial Group, Inc. 3.461% due 02/28/2022	社債等	アメリカドル	1.6
組入銘柄数			142銘柄	

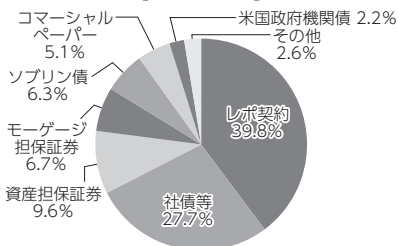
(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

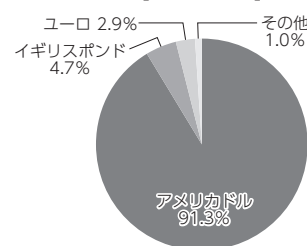
【資産別配分】

【国別配分】

必要な情報が開示されていません。



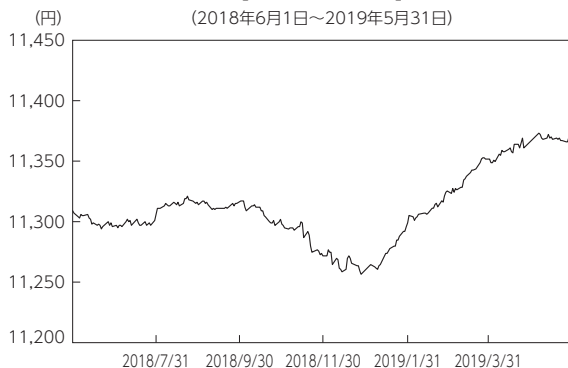
【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

PIMCOバミューダ U.S. ロー・デュレーション・ファンド

【基準価額の推移】



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2018年6月1日～2019年5月31日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

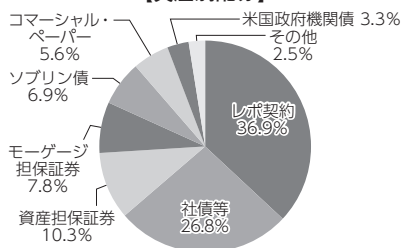
(2019年5月31日現在)

銘柄名	業種 / 種別等	通貨	比率 %
1 JPS 06/03/2019	レポ契約	アメリカドル	12.9
2 BPS 06/03/2019	レポ契約	アメリカドル	11.5
3 CSN 06/03/2019	レポ契約	アメリカドル	11.5
4 Qatar Government International Bond 3.875% due 04/23/2023	ソブリン債	アメリカドル	2.3
5 Fannie Mae, TBA 3.500% due 07/01/2049	米国政府機関債	アメリカドル	2.3
6 Japan Finance Organization for Municipalities 2.000% due 09/08/2020	ソブリン債	アメリカドル	2.2
7 Towd Point Mortgage Funding Granite4 PLC 1.855% due 10/20/2051	モーゲージ担保証券	イギリスポンド	1.8
8 Mizuho Financial Group, Inc. 3.461% due 02/28/2022	社債等	アメリカドル	1.7
9 Santander UK Group Holdings PLC 3.125% due 01/08/2021	社債等	アメリカドル	1.7
10 Northrop Grumman Corp. 2.550% due 10/15/2022	社債等	アメリカドル	1.7
組入銘柄数		134銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

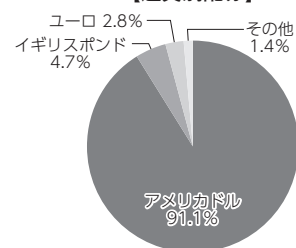
【資産別配分】



【国別配分】

必要な情報が開示されておりません。

【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。